

共同研究参加大学募集要項

研究課題「大学生のスポーツ経験と意識」

1. 研究の趣旨

本連合が2013年に実施した共同研究「運動部活動等における体罰・暴力に関する調査」では13大学・2短期大学に参加していただき、約4千人の学生から回答を得ることができました。運動部経験のある学生の約2割が体罰・暴力を受けた経験があり、体罰経験がある者の方が、「体罰・暴力は必要」と考える傾向があることなどを明らかにしました。国とスポーツ諸団体は体罰・暴力根絶に向けて取り組んできていますが、3年間にわたる取り組みが奏功しているかについて調査したいと思います。また、「する」「見る」「支える」スポーツやオリンピック・パラリンピック、大学スポーツ振興に関する学生の意識についても合わせて調査し、スポーツ行政や会員校の教育の場で活用できる統計資料したいと思います。2013年の調査結果は回答数が約4,000人と多かったこともあり、マスコミや研究者に良く引用され、価値のある情報提供ができたと自負しております。本調査も多数の会員にご協力をいただき、社会の関心に応える調査にしたいと思います。

2. 研究期間

平成28年9月1日から10月31日までの2ヶ月間

3. 参加条件

- (1) 本連合の会員大学に所属する専任教職員か、個人会員であること
- (2) 研究経費（調査依頼書印刷など）は参加者負担となります。
- (3) 所属大学で研究倫理審査を受ける必要がある場合は参加者自身で受けてください。
- (4) 所属大学の研究結果を大学紀要などに発表することは差し支えありません。

4. 実施方法

- (1) 調査はスマホかパソコンを用いて行います。調査依頼書を本連合ウェブサイト (<http://www.daitairen.or.jp>) よりダウンロードし、必要部数を印刷し、実施してください。
- (2) 回答データの入力結果（ローデータ）は、大学ごとにエクセルファイルにして、メール添付でお送りますので、学生指導にご活用ください。
- (3) 参加大学全ての回答を集計した結果もお知らせします。そして、この結果は、本連合ホームページや機関誌『大学体育』などで報告します。その際には、共同研究参加大学一覧も掲載します。
- (4) 参加申込方法
本連合ホームページから参加登録フォームを使って、以下の事項をお知らせください。
申込者氏名、メールアドレス、所属機関名・住所、実施予定時期
- (5) お問い合わせ先
難波秀行（日本大学理工学部） < nanba.hideyuki@nihon-u.ac.jp >

以上